

策定委員会での意見について

2022年7月29日

安芸高田市 企画振興部 政策企画課

1. 策定委員会で出された意見とその対応

○都市計画の概要（資料4）、マスタープランと立地適正化計画の概要（資料5）に関して出された主な意見、およびその対応状況は以下の通りです。

発言者	意見・指摘内容	事務局回答・対応状況
高宮町振興会 連絡協議会 辻駒委員	<p>コロナ禍ということで、これまで策定委員会が開けなかったという背景があるのは承知しているが、本件に関するアンケート調査が先行して実施され、今後のまちづくりの在り方について不安に感じている方も多い。</p> <p>私も本日の説明を受けるまで、資料5のp7に記載されている「コンパクトシティをめぐる誤解」に記載されているような誤解を持っていたが、今後、住民にも誤解や不安を解消してもらえよう、説明を行う必要があると感じている。</p>	<p>広報の実施に併せて、地域別構想素案作成後の6町別の地域懇談会において、本計画を策定する狙い等について説明する予定である。</p>
吉田町地域振興会 連絡協議会 小川委員	<p>都市計画区域が吉田町内の一部区域のみということだが、この区域は誰が決定したのか。</p>	<p>資料4のp5に記載されている通り、本市の都市計画区域は昭和55年に決定された。</p> <p>都市計画区域の決定権者は広島県であるが、おそらく公共下水道の整備を目的に、当時の吉田町が要望したものと考えられる。</p>
吉田町地域振興会 連絡協議会 小川委員	<p>市内にある限界集落のような地域も含めて、都市計画マスタープランの検討対象として考えていくという理解でよいか。</p>	<p>法律上、都市計画は都市計画区域内のみを対象とするものとされているが、当然、市内の他地域との関係性についても検討していく必要があるため、今回策定する都市計画マスタープランでは、市全域を対象とする予定である。</p>

2. 前回策定委員会で出された意見とその対応

○現状分析・課題整理（資料6）に関して出された主な意見、およびその対応状況は以下の通りです。(1/2)

発言者	意見・指摘内容	事務局回答・対応状況
広島県 廣中委員	資料の中身だけを見ると課題だらけであるように思われるが、決して暗い話だけではないと思う。 本市が保有する優れた自然環境や、神楽、毛利元就などの日本を代表するような地域資源など、市の強みの部分についても取り込んでいただき、強みにより利用しやすく魅力を高めていくとともに、本資料に記載いただいている課題については解決していく、という形でとりまとめてもらうとよいのではないか。	広島ビジョンや新型コロナを契機としたまちづくりの方向性、デジタル田園都市構想について追加整理を行い、計画素案にて、現状・課題のまとめに本市の強みについても追記する。
広島県 廣中委員	現状として課題が顕在化しつつあるようなものについても検討してほしい。 例えばアフターコロナを見据えた対応として、安芸高田市のような環境は3密を避けられる環境として強みにもなるのではないかと。 あるいは、急速に発展するデジタル化についても、今後のまちづくりの中で取り込んでもらいたい。	
福山市立大学 渡邊委員長	現状、旧町役場の周辺には商業施設等もある程度集積している状態ではあるが、総人口の減少が見込まれる中で、今後、これらの施設が維持できるかという点が危惧される。 そのため、みんなでこれらの施設を利用し、残していく方法を考える必要がある。 例えば、住民が減るのであれば、観光客のような市外からの来訪者や、長距離運転手などの通過交通需要への対応に重点を置くなどの対応も考えられる。 このような、人口が減少するという現状に対して、どのように都市を持続・発展させるべきかという点については、この委員会を通して議論を行い、マスタープランに盛り込めるとよいのではないかと。	ご指摘の点についても、今後の計画策定時に反映していきたい。 ※第4回策定委員会にて、実現化方策について検討する予定。
福山市立大学 渡邊委員長	P87に記載されている運転免許の保有有無について、性別での整理をお願いしたい。おそらく、特に高齢者では、女性の方が保有率は低いのではないかとと思われる。また、p96に記載されている居住環境への満足度、および将来的に住み続けたいかどうかについて、年齢別に整理をお願いしたい。	性別での運転免許保有有無（女性のほうが保有率が低い）、および年齢別の居住環境への満足度、将来的に住み続けたいかどうか（高齢者のほうが満足度や定住意向が高い）に関する追加分析結果について分析する。
米子工業高等専門学校 加藤委員	5年前や10年前と比べると、他地域では高齢女性の免許保有率が増加しており、本市における公共交通機関の利用者が減少している一因となっている可能性もある。	

2. 前回策定委員会で出された意見とその対応

○現状分析・課題整理（資料6）に関して出された主な意見、およびその対応状況は以下の通りです。(2/2)

発言者	意見・指摘内容	事務局回答・対応状況
米子工業高等専門学校 加藤委員	公共交通の充実を求める意見が挙げられていることはp101等からも確認できるが、「日常の移動に不自由しない交通手段」がどの程度なのかなども深掘りして、本市として維持していくべき公共交通機関の水準等についても議論が必要と思われる。	公共交通に関する取組方針については、今年度、本計画と並行して地域公共交通計画を策定予定であるため、今後、両計画の整合を取りつつ、将来都市構造（案）について適宜見直しを行う予定。 ※地域公共交通計画の方向性は、第4回策定委員会までに提示見込み。
米子工業高等専門学校 加藤委員	自宅周辺／拠点地域に求める施設の回答結果からは、今の本市の都市構造を維持してほしいという意思を感じられるが、先程渡邊委員長からもご意見いただいた通り、特に民間施設をどのように維持していくか、議論が必要と考えている。	
米子工業高等専門学校 加藤委員	交通については、人だけを運ぶのではなく、貨客混載等によって収益性を高めていくことも考えられることから、交通計画ともあわせて検討いただきたい。	
吉田町地域振興会 連絡協議会 小川委員	交通について、芸備線や路線バスが今後も存続することを前提とされているが、10年後にこれらの路線が維持されているかは不透明であり、廃止された場合も含めた都市体系の検討が必要ではないか。	
広島県 廣中委員	P105に整理されている「目指すべきまちの方向性」について、「解決すべき課題」に加えて、デジタル化への対応や交流人口への対応など、社会情勢等の他の観点も含めて整理してほしい。	

2. 前回策定委員会で出された意見とその対応

○全体構想・分野別方針（資料7）に関して出された主な意見、およびその対応状況は以下の通りです。

発言者	意見・指摘内容	事務局回答・対応状況
福山市立大学 渡邊委員長	交通に関する分野別方針として、中国自動車道高田ICの活用については検討してもよいのではないかと。 例えば、高速バスによる広域アクセスの確保等が考えられる。	ご意見を踏まえ、計画素案の交通に関する分野別方針として、中国自動車道高田IC周辺を交通結節点として活用する旨について記載している。
福山市立大学 渡邊委員長	地域コミュニティの維持・活性化に関して、若い人にとっては、お祭りなどの事業が目的化しているという点が課題になっているのではないかと議論がされている。 今回のマスタープラン策定で、32の地域振興会すべてに入り込んで議論することまでは難しいかもしれないが、地域コミュニティの活性化に向けたきっかけとなるような取組はしていただきたい。	地域別構想の素案作成後、6町別に地域別懇談会を開催し、地域コミュニティの活性化に向けた取組等に関して住民の皆様のご意見を伺った上で、内容の更新を図る予定。
広島県 山田委員	県で東京・有楽町に移住相談窓口を設けているが、近年、安芸高田市の人気がじわじわと高まっている。 地方移住を行う方は30歳代の方が最も多いが、これからの人生をかけられるようなやりがいのある暮らし方・働き方を求めている。 安芸高田市は、尾道などと違って知名度はそこまで高くないが、しっかりと情報を届ければ関心を持っていただける方も多しと感じている。 マスタープランにおいても、そのような情報が届けられるような計画としていきたい。	移住希望者への対応については、実現化方策等において検討・整理する予定。
高宮町振興会 連絡協議会 辻駒委員	コンパクトシティに関するアンケートというものが先行する中で、先日町内での会合があったが、各支所の「すぐやる課」が4月からなくなるという話などが、コンパクトシティの一環であるように思われている。 我々としては、支所機能を充実してほしいと考えているし、自分たちで地域を守っていき、安心して老後を暮らせる町にしたいと考えている。 地域の多様な住民の意見、特に若い方の意見、女性の意見、高齢者の意見などを踏まえて、よりよい計画を策定してほしい。	地域別構想の素案作成後、6町別に地域別懇談会を開催し、支所機能の充実や地域主体のまちづくりに向けた取組等に関して住民の皆様のご意見を伺った上で、内容の更新を図る予定。
福山市立大学 渡邊委員長	パブリックコメント以外にも住民意見を確認する機会も設けるなど、住民対話は丁寧に実施いただけるとよい。	
福山市立大学 渡邊委員長	また、生活サービスの質を落とさないなどの前提条件や、将来的に維持していくことが可能な水準についても、整理することが必要ではないか。	ご意見を踏まえ、計画素案の都市施設に関する分野別方針として、将来的に維持を目指すサービス水準について、現状と同程度を想定する旨を記載している。
福山市立大学 渡邊委員長	デジタル活用、地域コミュニティの活用など、どのように解決をしていくかについても検討できると、先程のご意見も踏まえたよい計画が策定できると考えられる。	広島ビジョンや新型コロナを契機としたまちづくりの方向性、デジタル田園都市構想について追加整理を行い、計画素案にて現状・課題のまとめに追記。